

# 鉄道ピクトリアル

2014年7月号 Vol.64 No.7 通巻No.891

<特集> ディーゼル機関車

■表紙 工臨牽引のJR東日本DE10 1751 .....岩田昌也  
越中島貨物—亀戸 2012-8-2

## ■グラフ

DL一熱きものたちの今 (1~8ページ)

藪下茂樹・森友紀・金子聡・桑村和宏・白土洋次  
杉崎健一・井上英樹・千葉恵一・安保優・澤木良直  
高山貴士・浜村正弘・砂田貴彦・志摩敬・藤木正成  
戸塚光弘・冨村哲男・今泉博之・渡邊裕太郎・吉本智  
JR貨物愛知機関区の国鉄色DD51.....藪下茂樹(116~119ページ)

\*

1950~60年代戦後の国鉄ディーゼル機関車 登場から発展期の記録  
.....伊藤昭・伊藤威信... 33  
信濃路のディーゼル機関車 .....小西純一... 38  
鶴見線の貨物列車 .....大里信之... 43  
往年の地方私鉄に見る個性派ディーゼル機関車  
.....写真:福田静二ほか... 44

\*

Pictorial Color Gallery 好日ふたたび .....飯塚卓治...113  
フリーゲージトレイン第3次試験車両/北大阪急行9000  
形/箱根登山3000形/東京急行電鉄1000系1500番代/JR  
東日本キハ40・48形「越乃Shu \* Kura」/JR東日本「SL銀  
河」運行開始/「義経」号が梅小路蒸気機関車館へほか  
トピック・フォト(各地・関東・中部・関西).....124  
阪急電鉄のヘッドマーク付列車 2013年度版 .....成瀬伸夫...134  
ラオスの鉄道 .....今津直久...144

## ■本文

今月の話題:ディーゼル機関車 .....編集部... 9  
国鉄時代のディーゼル機関車開発をめぐって .....石井幸孝... 10  
内燃機関車の歴史過程 .....澤内一晃... 22  
戦後ディーゼル機関車発達史の論点,争点,疑問点...岩成政和... 50  
JRディーゼル機関車 2014.....佐藤繁昌... 63  
私鉄のディーゼル機関車 ここ10年の動き .....服部朗宏... 73  
ディーゼル機関車の保存機をめぐる .....笹田昌宏... 89

\*

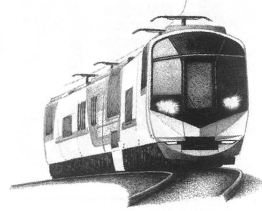
鉄道の話 .....編集部... 32

7月号特別企画

カマ屋のこぼれ話【特別編】信号のひみつ,教えます  
.....松本正司...136

ラオスの鉄道—併用軌道を走る国際列車に乗る—.....今津直久...145  
JR四国8600系量産先行車 .....明比博文・大平信哉...148  
北大阪急行電鉄9000形 .....東野幸広...154  
絵葉書が描く地方私鉄の昔むかし(7)一畑電気鉄道.....白土貞夫...160  
書評(601)『東海道新幹線50年』 .....和久田康雄...162  
4月のメモ帳 .....163  
読者短信・情報ファイル .....164  
後部車から .....168  
【特別付録】国鉄ディーゼル機関車配置表

ISSN0040-4047  
Tetsudō pikutoriaru



カット:山本茂樹

今月の話題

## ディーゼル機関車

都心で過ごす日常において、ステンレス車体の通勤電車や長大な新幹線電車などは日々目にし、当たり前前の光景となっている。その一方で、近年はディーゼル機関車を見かけることがすっかり少なくなったのである。以前は都市部においても駅構内にヤードがあり、ディーゼル機が入換などで忙しく行き来し、鉄道の魅力的な情景を演出していた。貨物輸送のスタイルが変わり、通常の客車列車がほとんど消えた現在、ディーゼル機と都心の風景の組み合わせは、ほとんど目にする機会がなくなってしまった。ただし、まだ都心部にでもその姿をわずかながら見られ、また地方線区ではその雄姿は数多く存在し、往時、いわば国鉄時代そのままの活躍シーンに接することも少なくない。このあたりが、鉄道趣味としてディーゼル機の人気が高い一因なのだろうか。

今日に至るディーゼル機関車の歴史の起点は、本格的には戦後の国鉄動力近代化の推進にあるといえよう。この分野における日本の技術は諸外国に比べ大きく遅れを取っていたが、1950年代に競って技術開発が進められ、欧米メーカーとの技術提携により電気式DF50形が生まれた。さらに国産化を達成し入換用の液体式DD13形が1958(昭和33)年、幹線用としての標準機DD51形が1962(昭和37)年に誕生する。この間の歴史的事情はまことに興味深く、本文記事により理解を深めていただきたいところだ。ローカル入換用はその後DE10・11形へと展開したが、基本的な潮流はその後長く変わることなく推移し、そのためDD51形などの国鉄形が今も多く活躍している。しかし、近年はJR貨物が開発したDF200形やハイブリッド入換機も進出が著しく、いよいよディーゼル機の歴史も変換点を迎えている感が強い。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda  
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan